

ティーンズのための  
読書案内

## Fox Letter for Teens

# 知っておきたい

# 社会のしくみ

ちょっと…コラム～  
こちら編集部

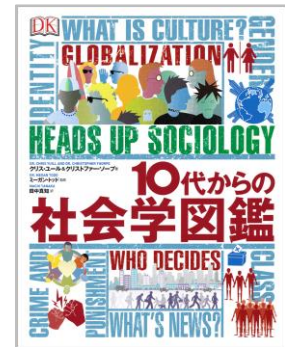
### 世の中の常識を疑う！

あなたは今、自分らしく生きられていますか？

自分にとってあたりまえのことが、他の人にとってはあたりまえではないこともあります。物事をいろいろな角度から見ることで大事ですね。社会の問題を様々な角度からとらえ、多様な人々が生きやすい社会を作ろうとする学問が『社会学』です。

この本では、「私ってだれ?」「どうして世界はこんなに不公平なのか?」といった世の中の身近な疑問に世界の社会学者たちが答えてくれます。カラーイラスト満載で、興味のあるトピックから読める社会学の入門書です。もしかしたら今まで気付かなかった新たな発見があるかもしれませんよ。

今回のテーマ『知っておきたい社会のしくみ』について、おすすめの本を紹介します。生き生きと暮らすためのヒントが盛りだくさん！ぜひ参考にしてください。



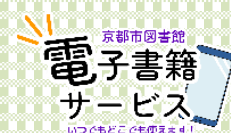
『10代からの社会学図鑑』

クリス・ユール／著  
クリストファー・ソープ／著  
ミーガン・トッド／監修  
田中 真知／訳  
三省堂

発行：京都市伏見中央図書館 Fox Letter 編集部

〒612-8051 伏見区今町 659-1 ☎075-622-6700

(公財)京都市生涯学習振興財団



## 『お金の話を13歳でもわかるように 一流のプロに聞いたら超カッコキ的な 経済本ができちゃいました!』

佐々木 かをり/編著 ダイアモンド社



「『お金』ってどうやってできたの?」  
から、「株式ってなんですか?」、  
「電子マネーってなんですか?」まで、  
子どもたちの質問に各界のプロが  
答えた内容をまとめた本です。  
インタビューをした「あいりちゃん」と  
「たいらくくん」は、著者佐々木さんのお  
子さんだそうです。わかりやすく書かれていますので、  
お金・経済について学びたい方におすすめです。

## 『10歳から使ってほしい みんなのお金とサービス大事典』

井手 英策/著 誠文堂新光社



明日が今日の延長であるという保証は誰にもありません。

予期せぬ事故や災害のため突然昨日とはまったく違った環境に身を置くことになるかもしれません。

そんな時、あなたは何を頼りに生きていきますか? 社会には様々な制度があり、あなたの困りごとに対処してくれる機関があります。ご家族と一緒に読んでいただきたい一冊です。

### 時事問題を学ぼう!

## 『13歳からのニュースウィーク』

栗下 直也/著  
ニュースウィーク日本版編集部/編  
CCCメディアハウス

自動運転や AI、「民法改正『18歳成人』」で何が変わるのか? など、社会・経済から科学技術・環境問題まで、様々なテーマを取り上げて、ストーリー形式で解説しています。コラムも多数掲載されており、社会のしくみについて、わかりやすく知ることができる 1冊です。



## お金ってなに?

お金は私たちの暮らしに欠かせない大切な  
ものですよね。

## 『きみのお金は誰のため』

田内 学/著 東洋経済新報社

中学二年生の佐久間優斗は、  
進路面談で「将来は年収の  
高い仕事がしたい」と答え  
担任から説教をされる。結局のところ先生だっ  
てお金のために働いているわけだし。キレイ事だけ  
を押し付ける大人に反発を感じていた優斗は  
偶然投資で莫大な資産を築いたボスと呼ばれ  
る人物と出会い、お金にまつわる三つの真実を  
教えられる。



### 批判的思考で生きる力を

## 『10代からの批判的思考』

名嶋 義直/編著  
寺川 直樹/著 田中 俊亮/著  
竹村 修文/著 後藤 玲子/著  
今村 和宏/著 志田 陽子/著  
佐藤 友則/著 古閑 涼二/著  
明石書店

学校生活、仕事、メディア、多文化共生などのテーマについて、9人の執筆者が読者といっしょに考える姿勢で論じます。「批判的思考」とは「じっくり考える」こと。一歩立ち止まり「それって本当?」「根拠はなに?」と批判的に考えることが大切で、その姿勢が「生きる力」になります。そんな生きる力を育てる助けになる 1冊です。



お金にまつわるトラブルに巻き込まれない  
ためにも、お金の知識とかしこい使い方を  
身につけたい!というあなたにおすすめ  
です。お金を得るためのビジネスの本も  
一緒にどうぞ!



さあ、ビジネスを始めよう!

### 『13歳からの経営の教科書』

岩尾 俊兵/著 KADOKAWA

中学1年生のヒロトは、ある日、学校の図書室で  
不思議な本『みんなの経営の教科書』と出会  
います。その本に導かれるようにヒロトは級友たち

を巻き込んで、ビジネスを始め  
るのですが…。

ビジネスって何だろう、経営する  
ってどういうこと?を分かりやす  
く知ることができる青春物語  
です。



今から学ぼう! ビジネスのイロハ

### 『図解はじめて学ぶみんなのビジネス』

ララ・ブライアン/文 ローズ・ホール/文  
ケラン・ストーバー/イラスト  
ウィルソン・ターキントン/オリジナル監修  
ブライオニー・ヘンリー/オリジナル監修  
浜崎 絵梨/訳 高橋 郁夫/監修  
晶文社

みなさんはビジネスに興味が  
ありますか?向き不向きなく、  
みなさんの「やりたい!」という  
思いさえあれば始められる  
のがビジネスです。

この本では「ものを作って売る」  
というビジネスの基本や社会のしくみ、そして会社  
を作るための方法が、豊富なイラストとともに  
解説されています。ビジネスのイロハを学ぶなら、  
まずはこの1冊から!



世の中にあふれる様々な情報、

あなたは真実をどう見極める?



ウソ



ホント



フェイクニュースにだまされないために

### 『はじめてのニュース・リテラシー』

白戸 圭一/著 筑摩書房

日々ネットやテレビ等にあふれるニュース。  
すべてが「事実」でしょうか。

残念ながらフェイクがなくなる現在の、  
時には立ち止まって考える必要が  
あるかもしれません。

大手新聞社の記者だった著者が、  
ニュースの作り方・でき方をもとに、  
情報の受け止め方や発信するとき  
の注意を解説します。



これはどこまで許される?

### 『13歳からの著作権』

久保田 裕/監修  
メイツユニバーサルコンテンツ

「歌ってみた」、上手にできたから動画を投稿し  
よう! ネットで見つけた猫の写真、かわいすぎるから  
SNSで拡散しよう! …でもちょっと待って! その歌  
や写真、誰に《著作権》があるか考えましたか?  
インターネットやSNSで何かを見たり発信する時  
に知っておきたい著作権のしくみを、マンガで学  
びましょう。





# LGBTQ について知ろう！

多様な生き方を尊重する

『図解でわかる  
14歳からのLGBTQ+』  
社会応援ネットワーク／著  
太田出版



知識はあるけど、  
まだ理解できてない…

『笹森くんのスカート』  
神戸 遙真／著 みずす／画  
講談社



LGBTQ+は、2015年に国際連合サミットで2030年までに達成を目指す世界目標として採択された持続可能な開発目標(SGDs)の多くの項目に関わる問題。「そもそもLGBTQ+って何?」そんな疑問に図解を使ってわかりやすく答えてくれています。知る、考える、実践することが必要な問題です。多様な人々が登場するドラマや映画の紹介もあります。

笹森くんがスカートを履いてきた!しかも二学期に入ってから…。クラスの中心的存在で爽やかなイケメンの彼。学校は今年度からジェンダーフリー制服を導入。同級生の「どういふつもりなんだろう?」「気づかっただげなきゃ?」というそれぞれの思いと身近な出来事を通して、LGBTQを考える一冊。

## ▶▶▶ Next 本 ▶▶▶

これまで紹介した本よりも読み応えのある本を3冊ご紹介します。  
まだ物足りないあなた、こちらもどうぞ!

変わる社会について考えるなら今!



『高校生と考える新時代の争点 21』  
桐光学園中学校・高等学校／編 左右社

各分野で活躍する専門家の先生たちが、中高生に向けて講義を行った「大学訪問授業」の記録です。話し言葉で書かれているため、わかりやすく今の時代の論点を知ることができます。コロナ、戦争、文学、SNSなどの多様な話題を掘り下げ、好奇心が刺激されること間違いなしです。

社会問題を知る・向き合う

『揺らぐ世界』  
立花 隆／著 岡 真理／著  
橋爪 大三郎／著 森 達也／著  
藤原 帰一／著 川田 順造／著  
伊豫谷 登土翁／著  
桐光学園／編 ちくまプリマー新書  
編集部／編 筑摩書房



「少数派」の声はどこに行く?

『多数決を疑う』  
坂井 豊貴／著 岩波書店



紛争、格差、宗教、環境問題など、世界は様々な問題を抱えています。社会にあふれる問題を知り、理解する視点はどうすれば身につくのでしょうか? この本は多彩な先生たちが中学生に向けて行った講義を編集したものです。わかりやすい文章と読書案内で、社会問題について考えるきっかけをくれる本です。

数が多い方を採る多数決。  
友だちと遊ぶときや学校生活でも、多数決で決める流れは多いのではないのでしょうか。社会でも選挙などで当たり前採用されています。多数決は本当に「民主的」なの? 多数決よりも万能な決定システムってあるの? そんな疑問を平易な文章で明らかにする、新しい視野が得られる一冊です。